

令和6年10月6日

1番 高橋 裕子

議員広報委員会研修報告書

研修先：令和6年度町村議会広報研修会 ニッショーホール

日 程：令和6年9月25日（水）午後1時～午後4時40分

参加者：広報委員6名、議長、事務局2名 計9名

1. 読まれる議会広報誌の作り方 中本正樹氏

議会だよりというより、地域広報誌向きの講義だったように思う。

小美玉市の広報を前と現で比べると、現在の広報は手に取ってみたいと思う表紙であった。

写真の掲載の仕方撮り方、市内の飲食店の写真や店主のインタビュー、生産者の方々のページも有料冊子のようなだった。

文字だけ載せても手に取るか。やはり、見せ方は大事で、多くの人に手に取って貰って初めて広報の意味があると感じた。

2. パッと伝わる議会広報紙に！やってはいけないデザイン講座 平本久美子氏

同じデザインであっても、フォントやサイズによって見え方が違う。

議会の表紙も長く変わっていない。風景写真が多く使われるが、デザインを一新することで同じ風景であっても大きく違う物になる。

読みやすい、人の目に入りやすいフォントは、読む人を増やすことへもつながる為、新たなチャレンジを取り入れてもいいのではないかな？

一般質問は現在 800 文字を基本として作成している。

これは、他と比べると多いほうであるが、それでも 800 文字で伝えるのは難しい。簡潔に、読みやすく、写真やイラストを多くし、読みたいと思えるような議会だよりを作成したい。

広報委員となり3年弱経つが、写真の掲載方法以外、変えられてないのではないかな。

もっと発言し、新しい議会だよりを作成したい。